

## 重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

|                       |   |     |               |
|-----------------------|---|-----|---------------|
| 取組項目(中項目)             | 1 財政予測計画をふまえた持続可能な財政運営  | No. | 44            |
| 具体的な取組項目(小項目)         | 3 公会計による財務情報を活用した財務運営、財産経営の推進と市民に向けた情報発信  | 担当課 | 財務課●<br>財産活用課 |
| 改革実施項目名称(細項目)         | 総務省の統一的な基準による財務書類を作成・公表するとともに、コスト分析・ストック分析を行い予算などへ有効活用  |     |               |
| 現状と課題<br>(これまでの取組み)   | 平成19年度決算から新地方公会計制度に基づく「総務省方式改訂モデル」による財務書類を作成。平成24年度決算から全ての資産を把握し計上する「基準モデル」による財務書類を作成し、分析、活用を図ってきたが、複数の方式が混在しているため地方公共団体間での比較や適正水準の把握が困難であるなどの課題がある。平成26年度、国から統一的な基準が示され、平成29年度までに全ての地方公共団体で作成することを要請されている。 |     |               |
| 事業の目標・目的<br>(考えられる効果) | ≪計画期間の目標≫<br>・統一的な基準による財務書類を作成するとともに、施設別、事業別のコストや市全体の資産状況の分析、活用方法を検討し、一部実施する。   |     |               |
|                       | ≪事業の最終目標≫<br>・公会計に基づく財務書類を活用し、事業別、施設別のコストや市全体の資産状況を的確に把握、分析することにより、計画的かつ効率的な財政運営を行う。  |     |               |
| 取組の内容                 | ・統一的な基準による財務書類を作成・公表する。<br>・施設別、事業別のコストや市全体の資産状況の分析、活用方法を検討し、一部実施する。  |     |               |

| 改革実施概要 | 取組工程<br>(具体的な内容) | 現状<br>(平成26年度)   | 平成27年度  |   | 平成28年度   |  | 中間目標/<br>29年度以降   |
|--------|------------------|--|---|---|--|--|---|
|        |                  |  | 計画  | 実績  | 計画   | 実績   |   |
|        |                  | ・平成25年度決算について基準モデルによる財務書類を作成・公表するとともに、施設カルテの情報を予算編成で活用 | ・平成26年度決算について、統一的な基準による財務書類を試行的に作成<br>・分析、活用方法の検討 | ・平成26年度決算について、統一的な基準による財務書類を試行的に作成した。<br>・財務会計システム再構築にあわせ、分析、活用方法の検討を行った。 | ・平成27年度決算について、統一的な基準による財務書類を作成、公表<br>・分析、活用の一部実施 | ・平成27年度決算について、統一的な基準による財務書類を作成、公表<br>・施設類型別の固定資産減価償却率を公表 | 統一的な基準による財務書類を作成、公表するとともに、施設別、事業別のコストや市全体の資産状況を分析し、予算編成に活用する。 |
| 指標     | 統一的な基準           | —  | 試行  | 試行  | 実施   | 実績   | 継続して実施  |
|        | 予算編成への活用         | —  | 検討  | 検討  | 一部実施   | 一部実施   | 一部実施  |

| 進捗管理 | (各年度10月に実施) |               | 平成27年度                                 |        | 平成28年度                              |        | ※平成29年度上半期に計画期間の中間評価を実施する。 |
|------|-------------|---------------|--|--------|-------------------------------------|--------|----------------------------|
|      | 取組の状況       | 上半期<br>(4～9月) |  | 予定通り進捗 |                                     | 予定通り進捗 |                            |
|      |             |               | ・統一的な基準による作成方法の調査・検討<br>・分析、活用方法の調査・検討 |        | ・統一的な基準による作成作業の実施<br>・分析、活用方法の調査・検討 |        |                            |

| 年度評価 | (年度終了後に実施)      |  | 平成27年度  |   | 平成28年度   |   |
|------|-----------------|--|---|---|--|---|
|      | 取組工程、指標に対する評価   |  |   | B |  | B |
|      |                 |  | ・統一的な基準による財務書類を試行的に作成した。<br>・分析、活用方法の調査・検討を行った。 |   | ・統一的な基準による財務書類を作成した。<br>・新たな指標として施設類型別の固定資産減価償却率を公表した。           |   |
|      | 課題、今後の方針、改善事項など |  | ・財務会計システムの再構築にあわせ、引き続き、分析、活用方法の検討を行う。           |   | ・平成29年度には全政令市で統一的な基準による財務書類が作成されることから、引き続き、分析、活用方法の検討を行い、実施していく。 |   |

| 計画期間の中間評価 | (平成29年度に実施)                |  | 中間評価   |   | 平成29年度以降                               |
|-----------|----------------------------|--|--|---|--|
|           | 取組工程、指標に対する評価<br>(指標の適正性等) |  |  | B |  |
|           |                            |  | 国は平成29年度までに統一的な基準により財務書類を作成するよう要請しているが、他政令市に先行して平成28年度から統一的な基準による財務書類の作成を本格実施した。また、新たな指標として施設類型別の固定資産減価償却率を公表した。 |   | 引き続き、分析指標の検討を進めるとともに、分析結果を予算編成に活用していく。 |
|           | 課題、今後の方針、改善事項など            |  | 平成29年度には全政令市で統一的な基準による財務書類が作成されることから、分析指標の検討を進める。また、施設カルテを活用し維持管理費の適正化を図るなど、公会計による財務情報を活用した財務運営を進める。             |   |  |

## 重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

|                       |   |                                     |   |                                     |   |   |        |
|-----------------------|---|-------------------------------------|---|-------------------------------------|---|---|--------|
| 取組項目(中項目)             | 1 財政予測計画をふまえた持続可能な財政運営  | No.                                 | 44  |                                     |   |   |        |
| 具体的な取組項目(小項目)         | 3 公会計による財務情報を活用した財務運営、財産経営の推進と市民に向けた情報発信  | 担当課                                 | 財務課●<br>財産活用課   |                                     |   |   |        |
| 改革実施項目名称(細項目)         | 総務省の統一的な基準による財務書類を作成・公表するとともに、コスト分析・ストック分析を行い予算などへ有効活用  |                                     |   |                                     |   |   |        |
| 現状と課題<br>(これまでの取組み)   | 平成19年度決算から新地方公会計制度に基づく「総務省方式改訂モデル」による財務書類を作成。平成24年度決算から全ての資産を把握し計上する「基準モデル」による財務書類を作成し、分析、活用を図ってきたが、複数の方式が混在しているため地方公共団体間での比較や適正水準の把握が困難であるなどの課題がある。平成26年度、国から統一的な基準が示され、平成29年度までに全ての地方公共団体で作成することを要請されている。 |                                     |   |                                     |   |   |        |
| 事業の目標・目的<br>(考えられる効果) | ≪計画期間の目標≫<br>・統一的な基準による財務書類を作成するとともに、施設別、事業別のコストや市全体の資産状況の分析、活用方法を検討し、一部実施する。   |                                     |   |                                     |   |   |        |
|                       | ≪事業の最終目標≫<br>・公会計に基づく財務書類を活用し、事業別、施設別のコストや市全体の資産状況を的確に把握、分析することにより、計画的かつ効率的な財政運営を行う。  |                                     |   |                                     |   |   |        |
| 改革実施概要                | 現状<br>(平成26年度)  | 平成29年度                              |   | 平成30年度                              |   | 最終目標/<br>31年度以降   |        |
|                       | 取組工程<br>(具体的な内容)  | 計画                                  | 実績  | 計画                                  | 実績  |   |        |
|                       | ・平成25年度決算について基準モデルによる財務書類を作成、公表するとともに、施設カルテの情報を予算編成で活用  | ・統一的な基準による財務書類を作成、公表<br>・分析、活用の一部実施 | ・平成28年度決算について、統一的な基準による財務書類を作成、公表<br>・受益者負担率の低い施設を抽出し、事務事業点検に活用 | ・統一的な基準による財務書類を作成、公表<br>・分析、活用の一部実施 | ・平成29年度決算について、統一的な基準による財務書類を作成、公表<br>・受益者負担率の低い施設を中心に、事務事業点検に活用 | 統一的な基準による財務書類を作成、公表するとともに、施設別、事業別のコストや市全体の資産状況を分析し、予算編成に活用する。 |        |
| 指標                    | 統一的な基準  | —                                   | 実施  | 実施                                  | 実施  | 実施  | 継続して実施 |
|                       | 予算編成への活用  | —                                   | 一部実施  | 一部実施                                | 一部実施  | 一部実施  | 実施     |



|      |             |               |  |            |                                       |            |
|------|-------------|---------------|--|------------|---------------------------------------|------------|
| 進捗管理 | (各年度10月に実施) |               | 平成29年度                                     |            | 平成30年度                                |            |
|      | 取組の状況       | 上半期<br>(4~9月) | ・統一的な基準による作成作業の実施<br>・予算編成に向けて、施設の受益者負担を検証 | 予定通り<br>進捗 | ・統一的な基準による作成作業の実施<br>・政令市比較による分析手法の検討 | 予定通り<br>進捗 |

|                 |               |   |   |   |   |   |
|-----------------|---------------|---|---|---|---|---|
| 年度評価            | (年度終了後に実施)    |   | 平成29年度  |   | 平成30年度  |   |
|                 | 取組工程、指標に対する評価 |   | ・統一的な基準による財務書類を作成した。<br>・受益者負担率の低い施設を抽出し、事務事業点検に活用した。 | B   | ・統一的な基準による財務書類を作成した。<br>・受益者負担率の低い施設を中心に、事務事業点検に活用した。 | B |
| 課題、今後の方針、改善事項など |               | ・全国的に統一的な基準による財務書類に統一されることから、政令市比較を行うなど、分析、活用方法の検討を行い、実施していく。 |   | ・全国的に統一的な基準による財務書類に統一されることから、政令市比較を行うなど、分析、活用方法の検討を行い、実施していく。 |   |   |

|                 |                            |  |          |
|-----------------|----------------------------|--|----------|
| 計画期間の評価         | 計画期間の評価                    |  | 平成31年度以降 |
|                 | 取組工程、指標に対する評価<br>(指標の適正性等) | 統一的な基準に基づき、ホームページ等で財務書類等を公表することで経年比較や類似団体間で比較可能となっており、活用については、施設毎の受益者負担、コストなどを予算に活用していきたい。 |          |
| 課題、今後の方針、改善事項など |                            | 先行都市では施設別の財務書類を作成するなど、資産管理への活用から着手している自治体がある。活用成果などを情報収集し、予算編成への活用を検討していく。                 |          |